

浜松湖北

女子バスケットボール部



12.1月

大分期間が開いてしまいました。1、12月の活動を報告します。担当は2年生です。

新人戦西部予選

12月12、13日に新人戦西部地区予選が行われました。予選は4チームのリーグ戦で上位2校が決勝トーナメントに進むことができます。幸か不幸か抽選の結果、浜松北、浜松日体、浜松江ノ島の激戦リーグで予選を行うことになりました。

第一戦 対浜松北

試合開始直後から一進一退の攻防を繰り返し、気を許さない状況が続きました。相手の外角のシュートが何本か決まり、10点程差が開いてしまいました。そこからはDFを切り替えたり、OFを修正したりして追いつく場面もあつ

たものの、追いついては離されてを繰り返し、最終的には41対50で第一戦を落としてしまいました。シュートチェックの遅れや点差を詰めた時のミスが大きな敗因として挙げられました。

第二戦 対浜松江ノ島

江ノ島戦では初戦の反省を生かし、試合の入りの戦い方の改善を試みました。完璧な改善には至りませんでした。完璧な序盤からリードし、72対31で勝利することができました。



第三戦 対浜松日体

2日目の最終戦は浜松日体と試合をしました。勝利すれば2位でリーグ突破となる大事な一戦となりました。浜松日体の素早い攻防に中々自分たちのペースに持っていくことができず、じわじわと点差を広げられました。途中、ケガ人も出てしまい厳しい状況が続きました。後半はハイピックを使って得点を重ねていきましたが、相手のシュートを止めることができず、最終的には44対72で敗れ、結果としてリーグ3位で新人戦を終えました。

大会の成果と課題

今大会ではウインターカップでの反省点であった失点数を改善することができました。ロースコアゲームに持ち込むため、リバウンドの徹底やセットオフエンスを主体とした攻撃を中心に、相手の攻撃回数を減らすことを意識してやってきた成果が出たと思います。

す。一方でオフエンスに時間をかけている分、自分たちの得点も以前に比べて減ってしまいました。確率の良いシュートの選択やシュート精度をこれまで以上に磨く必要性を感じました。また、1 on 1の弱さも目立ちました。1人で守る力をつけるためにも、より一層練習中にハードワークをしていかなければなりません。厳しい練習もみんなで声を掛け合って乗り越えていこうと思います。

初打ち

1月4日に初打ちを行いました。本来であればOGも呼んでミニゲームをしたかったところですが、今年通常練習を行いました。年末年始で鈍った体をほぐしつつ、良い練習をすることができました。練習後には、恒例となっている井伊谷宮へ初詣に行きました。それぞれの思いを持ってお参りをし、おみくじを引き、1日予選に向けて決意を固めることができましたと思います。

Happy Birthday

お参り後には、近くの蕎麦屋で昼食を食べ、心も体も満たされました。



1月31日の練習後に井村先生の1日早い誕生日をお祝いしました。みんなでプレゼントやケーキをサプライズで準備しました。喜んでもらえてよかったです。

